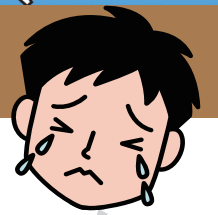
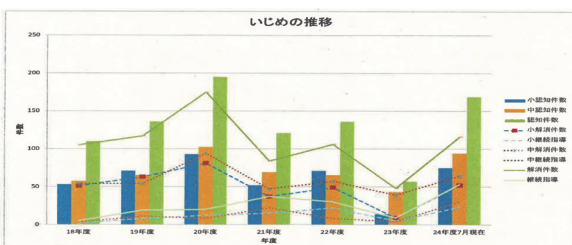


成田市のいじめの実態と取り組み状況



「いじめ問題」については過去にもインターネットを使った「いじめ」が横行していることを取り上げて一般質問したことがあります。今回を機に改めて成田市の「いじめ」「不登校」の実態について取り上げました。

大津市の事件を受けて、市がいじめ緊急調査を7月に実施したところ、平成24年度の1学期におけるいじめ件数は169件あり、その内解決済みが116件。また、不登校児童127名のうち約1割がいじめに起因している。



平成18年度から文部科学省によるいじめの定義がいじめられる側の気持ちを重視するように見直されたため、以降は報告件数が大幅に増えている。

いじめ発覚後の対応は？

学校全体で組織的に対応しており、発覚した場合の手順として各学校で作成してある危機管理対応マニュアルに基づき、当事者だけでなく保護者や関係児童生徒等からの情報収集を通して事実関係を正確に把握し、必要に応じて児童相談所、北総地区少年センター、警察等の関係機関と連携を図りながら問題解決に向けて迅速に対応。同時にいじめを行った児童生徒には、いじめの非人間性やいじめが他者の人権を侵す行為であることに気付かせ、他者の痛みを理解できるように指導している。

今後とも、学校・家庭・地域社会の連携を一層深め、子どもたちが発する小さなサインを見逃すことのないよう早期発見、早期対応を心がけ、いじめを許さない学校づくりを要望しました。

それだけじゃない!!

子どもたちと保護者への啓発も不可欠!!

「いじめ」は、学校や教育委員会の責任もさることながら、当事者である加害児童やその親の責任の重さは論を待ちません。大津市の事件では、親が注意や自制を求めた形跡がないだけではなく、報道によれば学校側の事情聴取に「うちの子供が自殺したらどうしてくれるのか」と迫ったということでした。教育基本法には「教育の第一義的責任は家庭にある」とあることから、常日頃からの子どもたちや保護者への啓発活動を要望しました。

教育委員会制度を根本的に見直す必要がある!!

滋賀県大津市の中学生が、いじめを苦に自殺するという本当に悲しい事件が起きてしまいました。小学校と幼稚園に通う子どもがいるわたくしとしても、この件には多くのことを考えさせられました。いじめの被害に遭い自殺の練習までさせられ、最終的に死を選んだ被害者児童が亡くなったのが昨年10月、報道でようやく取り上げられたのが翌年の7月という事実を思うと、学校や教育委員会の隠ぺい体質や身内を守ろうとする「組織防衛」、それに「事なかれ主義」といった体質には、おぞましさを憶えました。

このようなケースの場合、本来は公正中立な第三者機関であり独立機関でもある教育委員会がその役割を果たすものと考えていました。しかし、この事件の場合はその機能を果たすどころか、学校と一緒に「隠蔽工作」に走ってしまったようです。警察が強制捜査に乗り出したために防ぐことができたが、それがなければ保護者の訴えは届かず、真相は闇の中に消えていたかもしれません。結局、大津市長の判断で調査委員会が設けられたわけですが、これこそ本来は教育委員会が担うべき業務でした。

これは教育委員会制度自体が形骸化している証左であり、「責任と権限が一致していないことが日本教育行政の問題の根幹である」という視点から、大津市のような事件が成田市で起こることがないよう、あらゆる角度から教育委員会制度の問題点を指摘しました。法律を変えなくても市独自で改善できる方策として、橋下大阪市長が推進した大阪市教育行政基本条例などを参考に無責任体質の改善や機構上の問題点をはじめ、教育行政の最高責任者である教育委員の選任方法などについて、「成田市」を踏まえた私案の提言を行いました。

今回の質問を通し、市長・執行部とも、現行の課題について共通認識を得られましたので、今後は改善に向けた議論を重ねた上、成田市に適応した運営手法の構築を図っていく所存であります。



今年3回目となる9月定例会議では、17名が一般質問に臨みました。初当選後のこの5年間、一度も休むことなく行っている私の質問は今回で22回目となりましたが、質疑に熱が入りあっという間の60分間でした。

雨宮真吾事務所

事務所：〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28
tel : 0476-27-5918 / fax : 0476-27-1051

info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

- 1978年10月31日生まれ(33歳)
- 平成19年 過去最多得票(2651票)で初当選
- 平成23年 過去最多得票(4079票)で2期目当選
- 教育民生常任委員会 副委員長
- 空港対策特別委員会
- 議会運営委員会
- 印旛利根川水防事務組合
- 日本サーフィン連盟公認インストラクター

雨宮しんご

出前市政報告会を開催しています!

雨宮しんごは、お一人にでも多く市政の現状・問題点をお伝えするため、ご要望に応じて出前市政報告会を開催しています。メールかFAXにてお申込み(2人以上)頂ければ、日程を調節の上、成田市内どこへでも伺います。ざっくばらんな意見交換の場としても活用ください!!

FAX
0476-27-1051

成田空港の成長戦略について



今夏運行を開始した格安航空会社（ＬＣＣ）２社、スカイマーク社の搭乗率の状況は上々！

成田を拠点に今夏ＬＣＣ２社が就航を開始するなど成田空港は「ＬＣＣ元年」を迎えました。夏ダイヤに合わせて年間発着回数も２３５千回から２５万回に拡大するなど国内路線の充実が図られており、昨年の夏ダイヤと比べて週２３２回増、直近の冬ダイヤ比でも週２１２回増えています。

ＬＣＣ２社、スカイマーク社（成田シャトル）の搭乗率も順調な滑り出しとなり、今後さらなる利用拡大が期待されます。高まる需要に伴い、現在の第５貨物地区を一部改修することで

ＬＣＣ専用のターミナルを建設する方針が示されています。完成は２０１４年度中を目指し既に具体的な整備設計などが進められています。

ＬＣＣの参入という潮流の速さにハードが後追いするほどの状況には目を見張るものがあります。引き続き、成田空港を基点とする国内外のネットワークの充実に尽力していければと思います。

カーフェー（夜間運用時間制限措置）緩和に向けて議論をすべき！

成田空港は内陸空港であるがゆえに開港当時からカーフェーが行われており、２３時～翌６時までは緊急時を除き運用が制限されています。

ＬＣＣ就航という時代の潮流に成田が乗り遅れなかったのは、発着容量３０万回の合意という騒音下住民の理解があったからであり、ＬＣＣ２社が成田に拠点を置いた理由もそこにあると思います。

ですが、そのＬＣＣによる相次ぐ「欠航」や「遅延」は現行制度内での運用が適切に行われていないことを示す一方で、視点を変えれば成田空港の弱点が露呈されたともいえます。一連の動きに２社はダイヤ改正で対応していますが、使い勝手の悪さを踏まえてか、すでに成田以外にも拠点を設ける方針が出されています。

H21.12.15の空港圏自治体連絡協議会では、芝山町長がカーフェーの見直しについて提言、成田を含む空港周辺９市町の首長たちで了解した経緯があります。ですが、３０万回の話しが進んだことによるためか、現状は棚上げ状態となっています。

市長は記者会見で「住民合意が得られれば遅れて着陸する場合は金銭的ペナルティーを科すことで許容することもありうる」という具体的な例を挙げて考えを示したと報道されていましたが、本定例会議においては、やや慎重発言となっていたように感じました。一度了解を得ている議題を行政内部でタブー視するのではなく、騒音下住民の方々に対する配慮を踏まえた上での、創意的議論を関係機関と協議するよう提案しました。

ＬＣＣのトラブルに伴う遅延・欠航に対する再発防止に向けた働きかけを！

格安航空会社は、格安運賃化を図るために、航空機の短距離ピストン輸送による着陸から次の離陸までの時間を数十分間に設定しています。このようなＬＣＣの運航手法は、一度トラブルが起きるとその後の便に即影響することとなり、「遅延」や「欠航」と連動してしまうという課題があります。

すでにダイヤを見直すなどの対応策を講じているようですが、市としてもＬＣＣの更なる認知向上と多くの利用者に安心して利用いただけるよう、再発防止に向けた対応を適宜求めていくよう訴えました。

放射能の測定状況について

東日本大震災から１年半が経過しました。成田市では震災後８月から成田市役所など５か所で定点測定を行っています。当時は最大で０.２５マイクロシーベルト/hが測定されていましたが、８/２７最新値では０.１２マイクロシーベルト/hと今年に入ってから同程度で推移しています。

また、焼却灰の放射能濃度の最新数値は、いずみ清掃工場で５３０ベクレル/kgと昨年７月の１２８２ベクレル/kgから半減以下となっています。

９/２１現在、各市町村で９１品目、１６０８検体を検査していますが、千葉県産農産物の放射性セシウムは基準値以下となっています。ただし茶については成田市にのみ出荷制限措置が要請されています。

オンデマンド交通が全市で運用へ！

４地区（中郷、久住、豊住、下総）で限定的に実証実験されていたオンデマンド交通が全市で運用される運びとなりました！

「オンデマンド交通」は高齢者の通院や買い物、他、気軽に外出できる機会を増やすための交通手段の確保として、小回りの利く乗り合い型タクシーになります。（１回３００円）

これまで運用地域が限定されているばかりか、利用者も７０歳以上に限定され

ているなど非常に使いづらい政策となっていたことから、教育民政常任委員会で問題を提起し、東京大学に協力をいただきながらその改善に向けた研究を行ってきました。

教育民政常任委員会副委員長として議会会期に関係なく尽力してまいりましたが、９月定例会議で委員会としての提言を取りまとめが行われ、オンデマンド交通の全市での運用を要望、来年度を目安に運用が開始される予定です！！



医療費助成 ～中学３年生まで「現物給付」が可能に！１２月から～

子ども医療費助成制度（入通院２００円）は千葉県が小学４年生までを対象として実施しているところですが、昨年４月から成田市では、それを独自に中学３年生まで引き上げて実施しています。そのため小学４年生以上については「償還払い」として、窓口で一旦医療費を支払い、その後、市役所等の窓口で還付の手続きをする必要がありました。

ですが、このほど千葉県が助成を拡充したことにより、「現物給付」として、窓口で２００円の支払いで済むようになり、煩わしい制度に改善要望が多く出ていましたので、今回の拡充は歓迎するところです。

なお、この制度は１２月診療分から適用となります。

４地区（中郷、久住、豊住、下総）で限定的に実証実験されていたオンデマンド交通が全市で運用される運びとなりました！

「オンデマンド交通」は高齢者の通院や買い物、他、気軽に外出できる機会を増やすための交通手段の確保として、小回りの利く乗り合い型タクシーになります。（１回３００円）

これまで運用地域が限定されているばかりか、利用者も７０歳以上に限定されているなど非常に使いづらい政策となっていたことから、教育民政常任委員会で問題を提起し、東京大学に協力をいただきながらその改善に向けた研究を行ってきました。

教育民政常任委員会副委員長として議会会期に関係なく尽力してまいりましたが、９月定例会議で委員会としての提言を取りまとめが行われ、オンデマンド交通の全市での運用を要望、来年度を目安に運用が開始される予定です！！

みなさまのご意見をお寄せください！

Q1 雨宮しんごに期待することは何ですか？

Q2 一般質問で取り上げてほしい項目はなんですか？○をお付けください。

●高齢者福祉●景気、雇用問題●空港問題●防犯、防災対策

●医療問題●子育て支援や教育の充実●環境問題●その他（ ）

Q3 成田市政へのご意見や雨宮しんごへのご要望をお書きください。

ご記入頂いた個人情報は、ご依頼を受けたご要望等の対応に利用させていただきます。

FAX:0476-27-1051

フリガナ
お名前

住所 〒 - -

電話番号 - - -